

《2月定例会報告》

環境の時代と繊維

東京都立産業技術研究所製品技術部

テキスタイル技術グループ応用技術担当

宇井剛氏

ユーザーへのアピール

『環境にやさしい』ブランドを。

コンセプト

- 長く使ってもらえるライフサイクルが良い
- 環境にやさしい
- 廃棄物の減量
- リサイクル又は、処理がしやすい。

要件

- 高品質、高品位
- 気楽には捨てにくい規格
- 不必要な付加価値は付けない
- 飽きられないデザイン
- シンプル素材

トウモロコシを原料とするポリ乳酸繊維は成分分解性が最大の特徴としている。

織物について

みやしん株式会社 宮本英治氏

糸から布が出来るまで。(工程)

糸 染色 糸繰 整絶 管巻 織機 織
付け-製織 検反 出荷

流通ルート

産地機 産元 商社 コンバーター-アパレル小
売 消費者

デンエンチョウフ・ロマンによる水洗いやスチームなどの後処理をしなくても色落ちしない加工(事前処理浸透剤・固定剤処理)を施した特殊生地の説明、インクジェットプリンターで染色可能な生布。

《アンケートのお願い》

八王子産地、協議会の発展を考え、アンケートにより会員各位のご意見をお伺いし、活動の指針にしたいと思っております。

ご協力の程、宜しくお願ひいたします。

アンケートをお答えいただいていない方は至急返信していただきますようよろしくお願い致します。

アンケートにお答えくださった方ありがとうございました。

《3月定例会のご案内》

今回の定例会は、4月に総会を控え、今年1年の反省会と次年度事業計画作成、希望など、これからのファッション協議会について話し合いたいと思います。皆様のご提案をお願いします。

記

日時 3月4日(火)

PM 6:30 ~ PM 8:30

場所 東京都産業技術研究所
2F 会議室

テーマ

- これからの協議会活動について
- 次年度事業計画について
- 展示会反省
- その他

《第12回展示会の報告》

2月18日(火) 19日(水) アッセンブ

リールームに第12回展示会を開催いたしました。今回はユニバーサルファッションをサブテーマとして、ワイルドシルクのブースに皆様の関心が集まった。回を重ねるにつれ、固定来客者がつき、商談にも熱が入るようになった。昨年に比べ、出展数も来場者も減ってきてしまっているが、アパレル、バイヤー、メーカーの姿が多く見られた、来場者数は減少しているように思えるが、出展者にとっては、新しい商談相手を見つけることができ、内容の濃いものとなった。ワイルドシルクに皆さんの関心が集まり、軽い、太い天然の色彩、UVカット、定温低湿維持、難燃性といった素材特性からユニバーサルファッションに向いている。ワイルドシルクの中にアパレルと非アパレルの両面での商品化戦略に着手している企業もある。

八王子ファッション協議会事務局

〒193-0832

東京都八王子市散田町1-5-3

ニットブラン工業㈱内

TEL・FAX 0426-61-1860

mail to: hfc@hfc-net.org